

人材育成ニーズ調査(企業ニーズ調査)のまとめ

I 総論

- (充足状況) ・技術系社員については約3割が不足、技能系社員については約4割が不足と感じている
- (採用時) ・採用に当たり重視することは、「熱意・意欲」、「社会常識」、「コミュニケーション能力」であり、次に「基礎的な技術・技能・知識」と続く
- (採用後) ・採用後に身につけさせたい能力は、「1人で複数の異なる作業や工程を遂行する能力」
・技術系・技能系社員を育成・確保するための取組は、「OJT(業務内教育)」が最も多い
・Off-JT(業務外教育・社外研修)は「専門的な技術等の習得に関するもの」が多く、重視する点は「開催場所」、「費用」
- (人材育成) ・人材育成に課題があると感じている事業所は約7割
・感じている課題は、「人材育成にかかる時間がない」、「指導する人材が不足している」
- (技能継承) ・課題があると感じている事業所は約7割、このうち半数以上が対策を講じていない
・講じている対策は、「熟練技能者から若手へのOJT」、「再雇用等高齢社員の活用」
・技能継承が進まない理由は、「技能継承にかかる時間がない」、「技能を継承する人材がいない」
- (工科短大) ・工科短大(上田市)の認知度は約6割、南信工科短大(南箕輪村)の認知度は約2割(南信が中心)
・採用した卒業生に対しては、7割の事業所が「大変満足」、「やや満足」
・卒業生に評価できることは、「基礎的な技術・技能・知識」、「社会常識やビジネスマナー」
・卒業生に不足していることは、「コミュニケーション能力」、「自分で考え実行する応用力」
・今後、積極的に取り組んでほしいことは、「基礎的な技術・技能・知識に関する教育訓練の充実」が最も多い
- (技専校) ・技術専門校の認知度は約7割
・採用した卒業生に対しては、約5割の事業所が「大変満足」、「やや満足」
・修了生に評価できることは、「基礎的な技術・技能・知識」
・修了生に不足していることは、「自分で考え実行する応用力」、「問題発見解決能力等」
・今後、積極的に取り組んでほしいことは、「基礎的な技能を身に付ける1年程度の職業訓練の充実」が最も多い
- (施策認知度) ・施策の認知度は約1割から約4割であり、実際に利用している事業所は少ない
・制度のPRや手続きの改善を求める声が多い
- (技能尊重) ・「技能五輪全国大会・アビリンピック2012」の成果が活かされているのは5.4%(大企業
が中心)
・技能が尊重される社会を実現するため今後必要な取組として、「高校生が熟練技能者
から技術を習得する機会を増やす」が最も多い

II 業種別の特徴

	特 徴
① 製造業	<p>(充足状況) ・<u>技術系・技能系とも不足感が強い</u>(特に「設計・開発等を担当する技術者」)</p> <p>(採用時) ・あらかじめ身に付けておくことが望まれる技術・技能・知識は「材料や工作法、電気・電子等に関する基礎知識」</p> <p>(技能継承) ・課題があると感じている事業所は約8割と最も多く、このうち約6割は対策を講じている</p> <p>(工短・技専) ・今後、積極的に取り組んでほしい課題として、いずれも「<u>基礎的な訓練の充実</u>」が最も多いが、「<u>企業の社員を対象とした訓練</u>」の充実を求める声も他の業種に比べて高い</p> <p>(施策認知度) ・スキルアップ講座の認知度は他業種に比べて高い。利用しない理由は「受講させる時間がない」、「利用したい講座がない」</p>
② 建設業	<p>(充足状況) ・<u>技術系・技能系とも不足感が強い</u>(特に「若年の技能者」)</p> <p>(採用時) ・あらかじめ身に付けておくことが望まれる技術・技能・知識は「基本的な施工技術」</p> <p>(採用後) ・社員を育成・確保するための取組として、「必要な技術・技能・知識を持っている人材の中途採用」が最も多い</p> <p>(人材育成) ・「<u>人材育成をしてもすぐに辞めてしまう</u>」が約4割と他業種に比べて高い</p> <p>(技能継承) ・「課題があると感じているが、具体的な対策を講じていない」事業所が4割強と最も多い</p>
③ 印刷業	<p>(充足状況) ・<u>技術系・技能系とも「充足」が「不足」を上回る</u></p> <p>(採用時) ・あらかじめ身に付けておくことが望まれる技術・技能・知識は「DTP操作」</p> <p>(技能尊重) ・技能が尊重される社会を実現するため今後必要な取組として、「社内研修等を通じ、熟練技能者から若年技能者への技能継承を進める」が最も多い</p>
④ 情報通信業	<p>(充足状況) ・<u>技術系の不足感が強い</u>(特に「設計・開発等を担当する技術者」)</p> <p>(採用時) ・あらかじめ身に付けておくことが望まれる技術・技能・知識は「アプリケーション開発」</p> <p>(技能継承) ・「<u>課題があるとは感じていない</u>」とする事業所が約5割と他業種に比べて高い</p> <p>(工科短大) ・今後、積極的に取り組んでほしいことは、「<u>専門的な技術・技能・知識に関する教育訓練の充実</u>」</p>
⑤ 自動車整備業	<p>(充足状況) ・<u>技術系・技能系とも「充足」が「不足」を上回る</u></p> <p>(採用時) ・あらかじめ身に付けておくことが望まれる技術・技能・知識は「2級自動車整備士」</p> <p>(人材育成) ・人材育成に課題があると感じている事業所は約5割と他業種に比べて少ない</p>
⑥ 福祉・介護関連産業	<p>(充足状況) ・<u>技能系の不足感が強い</u>(特に「中堅の技能者」、「若年の技能者」)</p> <p>(採用時) ・あらかじめ身に付けておくことが望まれる技術・技能・知識は「介護福祉士」</p> <p>(採用後) ・社員を育成・確保するための取組として、「Off-JT(業務外教育・社外研修)」の割合が約6割と他業種に比べて高い</p> <p>(人材育成) ・人材育成に課題があると感じている事業所は約8割と最も多い</p> <p>(技専校) ・今後、積極的に取り組んでほしいことは、年単位の訓練を求める他の訓練科と異なり、「<u>基礎的な技能の一部を身に付ける6か月程度の職業訓練の充実</u>」が最も多い</p>